

ご挨拶

専務理事 明神 政之

私はこの呉のまちで和菓子店を経営しておりますが、和菓子の世界に「呉」というものがあることをご存じでしょうか。和菓子の呉は「ゴ」と読み、小豆を柔らかく炊いて篩に通し皮を取り除いた物、つまり豆の中身の部分を言います。これを固く絞って水分をとり砂糖を加えて火にかけて煉り上げると、和菓子の命である漉し餡が出来上がります。

しかし、呉（ゴ）はどんなに高級な小豆であってもそれを炊いただけのものですから、乾燥している豆と違いすぐに傷んでしまいます。和菓子職人は砂糖の割合や火加減、煉る時間を天気や気温を読み取りながら調整し、自らのプライドをかけ、日々、餡を作り続けていくのです。そして美味しい餡から生み出された和菓子は沢山の人を笑顔にしています。

呉のまちは本当に素晴らしい素材の詰まった魅力のあるまちですが、それも放置されていけば呉（ゴ）と同じようにすぐに廃れてしまうでしょう。だからこそ我々青年はその感性を以って今必要とされているものは何であるか読み取り、呉青年会議所メンバーとして誇りを持って行動し、新たな運動を展開し続けていかなければならないのです。そして我々の運動が伝播し、そこからさらに市民を笑顔にする“何か”が生まれていけば、明るい豊かな社会の実現は決して不可能ではないはずです。

熱せられ撥ねた餡で火傷をすることもあるかもしれません。しかし行動することを恐れず、伝統ある呉青年会議所の専務理事としての誇りを持ち、神垣理事長を支え、呉を住みよい魅力ある誇れるまちとすべく、一年間精一杯頑張る所存です。御指導、御鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

ご挨拶

常務理事 空本 壮平

呉青年会議所は今年で64年目を迎えました。呉青年会議所の歴史は、これまでの63年間、「明るい豊かな社会」の実現を胸に、先輩方が1年1年の歴史を積み重ね、築き上げてこられたものです。この呉青年会議所の歴史に恥じぬよう、私たちも時代に即した青年会議所活動を展開し、2016年度の活動を呉青年会議所の新たな歴史として刻んでゆかなければなりません。

しかし近年、呉青年会議所にとって会員減少は最大の問題であり、それに伴う収入の減少と各委員会事業の事業費の圧縮など、さまざまな問題が生じています。過去150名以上の会員数を誇った呉青年会議所も、今年度は50名弱のスタートとなる現実。その現実を受け止め、状況に応じた運営を考えることが必要だと感じております。

このたび、2016年度公益社団法人呉青年会議所の会計担当の常務理事を拝命するにあたり、大変光栄であると同時に、その責任の重大さを実感しております。予算の管理、事務局の効率的な運営と対応を通じ、「明るい豊かな社会」を築き上げる事業の実施を支えていきたいと存じます。メンバー全員が歯車を合わせて一致団結すれば、必ずその目的を達成できるはずです。常務理事として個別の事業に協力することはもちろん、呉青年会議所の対内活動・対外活動全般がスムーズに運ぶよう、LOM全体の効率的な運営と迅速な対応を心掛け、一年間職務を遂行して参ります。

最後に、今まで多くの方々から学びや気づきを頂きました。また、様々な経験をさせて頂きました。これらを自分自身の成長はもちろん、呉青年会議所メンバーの成長にも繋がるよう努めると共に、呉青年会議所の発展と明るい豊かな社会の実現の為、一年間精一杯頑張る所存でございますので、ご理解・ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

ご挨拶

常務理事 原 晃志

呉青年会議所は、明るい豊かな社会を築き上げることを目的とし、長年にわたって運動を展開して参りました。その中でおこなわれてきた事業は、公益目的のもとに不特定かつ多数の人々の利益の増進に寄与するものであり、まさしく「公益目的事業」というべきものです。そのような呉青年会議所が公益社団法人となったのは、ごく自然な経緯であります。したがって、公益社団法人となる前と後とで、団体や事業の本質に変化はありません。

他方、公益社団法人になったことで、会計等の規制を受け、行政庁の厳しい監督が行われることになりました。そのため、これまでにはなかった配慮や手続を必要とするようになっていきます。

呉青年会議所においては、公益認定を受ける相当以前から、公益認定に向けた周到な準備とシミュレーションをしていました。しかし、実際に公益社団法人となってから初めて明確になった問題点もあり、改善すべき点が複数見えてきている状況です。公益社団法人移行後3年目を迎え、それら改善すべき点を改善し、公益社団法人の適切な運営を確立するよう尽力いたします。

公益担当の常務理事である私としては、公益社団法人の適切な運営に当たり、時に冷や水を浴びせるような場面があるかと思えます。委員長の役割をアクセルに例えれば、私の役割はブレーキです。ブレーキが適切に作動しなければ、アクセルを踏むべきときにも無用なためらいを生じたり、思わぬ事故につながったりします。明るい豊かな社会を築き上げるため、ここぞというときにアクセル全開になれるよう、適切に作動するブレーキであるよう努めます。